

岩宇地域公共交通利便増進実施計画（概要）

- ・岩宇地域（岩内町、共和町、泊村、神恵内村）は、令和6年9月に廃止となった神恵内線の代替交通として「しおかぜライン」を地域連携交通として岩宇地域を縦貫する形で維持している。また、岩内ターミナルを交通拠点とする「高速いわない号」「雷電線」「小沢線」があり、広域的なネットワークとして維持確保している。
- ・地域のうち、共和町は広域分散型の居住形態が根付いており、多くの町民は自宅から目的地へ向かう道のりを自家用車やタクシーに頼らざるを得ない状況となっていた。本事業において町内の予約運行型バスを導入・維持することで、「車がないと暮らせない地域」から「交通が確保されている安心な地域」への展開を目指す。
- ・上記に加え、共通乗車券を発行することで、利用しやすく、利便性の高い交通サービス提供を目指す。

事業の内容

事業Ⅰ 自家用有償運送の導入

●共和町予約運行型バスの本格運行（イ）

- ・自宅から目的地へドアツードアの移動が可能
- ・高齢者や免許返納者の生活交通の確保維持

事業Ⅱ 共通乗車回数券の発行

- 既存の「しおかぜライン」と岩内町の循環バス「ノッタライン」で共通利用できる回数券発行（ロ）
 - ・両者は岩内ターミナルで接続するため、乗換の利便性が向上

事業の効果

事業Ⅰ 自家用有償運送の導入

- ・地理的な交通空白の解消
- ・「買い物・通院難民」の解消
- ・乗降場所に他地域内交通のバス停が含まれることにより地域全体の利便性が向上

事業Ⅱ 共通乗車回数券の発行

- ・シームレスな乗継環境構築による利用者の利便性向上
- ・運賃体系に合わせた回数券の設定により、接続する交通双方の需要を喚起し、利用者数が増加が見込まれ、持続的な交通網として維持確保を図る

○作成自治体

岩宇地域（岩内町、共和町、泊村、神恵内村）

○事業実施区域

岩宇地域全域

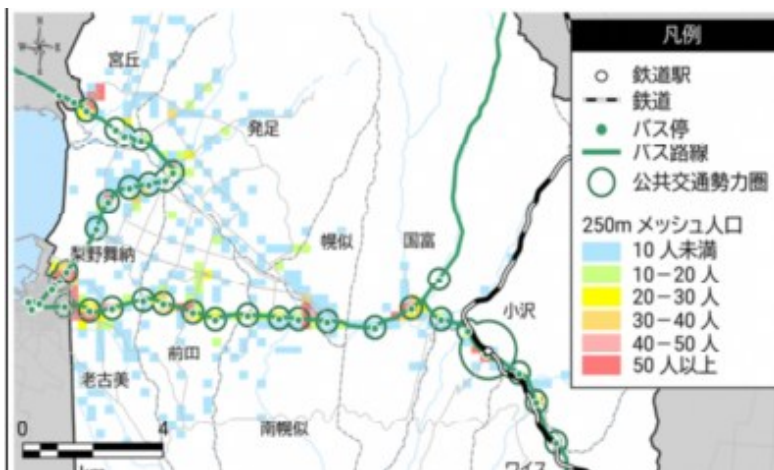
○事業実施予定期間

令和8年4月～
令和11年3月

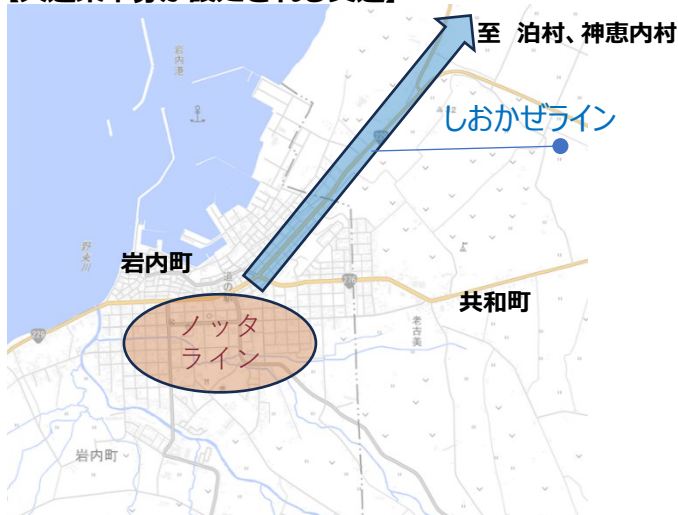
○実施事業者

岩宇地域公共交通活性化協議会、共和町、岩内町

【共和町の人口分布と既存バス停】



【共通乗車券が設定される交通】



販売予定の共通乗車回数券
（11枚綴り）